

立教大学 全学共通科目／言語自由科目

中国語海外言語文化研修（春学期） 募集要項

事前説明会について

日時:2026年4月4日(土) 11:00~12:00
教室:池袋キャンパス 5125教室
オンライン(Zoom)ID:836 0390 2742／パスコード: 044717

申請について

申請期間: 説明会終了後 ~ 4/9(木)15:00 **※期日厳守※**
申請方法: Web フォーム(<https://forms.gle/tT6pd2r4FT2eGQXN9>)
結果発表: 4/14(火)10:00
結果発表場所: 全学共通科目掲示板

【参考】

過去の研修参加者のコメントや写真は、[海外言語文化研修サイト](#)からご覧いただけます。

【問い合わせ先】

全学共通カリキュラム事務室(池袋キャンパス6号館1階)
メールアドレス:zenkari-gengo@rikkyo.ac.jp

I. プログラム概要について

①ねらい

夏休み中の3週間を使って、台湾(台北市)で中国語研修を行う。教室での学修と現地での日常生活を通じて、短期間に集中的に運用能力を高めることを目標としている。

②研修期間

2026年8月9日(日)～8月29日(土)
(研修は2026年8月10日(月)～28日(金))

③研修先

大学名:国立台湾師範大学 国語教学センター
所在地:台湾台北市大安区和平東路一段129号#10644
<http://mtc.ntnu.edu.tw/jap/>

④受入機関

国立台湾師範大学 国語教学センター

⑤内容

授業内容:4～7月に行う事前研修4回を全回受講し、台北市の国立台湾師範大学国語教学センター(MTC)において3週間の語学研修を受ける。現地到着後にレベルチェックテストを受け自分に適した少人数クラスで、様々な国の学生とともに学習する。授業はネイティブ教員が、短期学習班の外国人向け中国語教材を用い、基本的にすべて中国語で行う。

使用言語:中国語

宿泊先:国立台湾師範大学の留学生用宿舎(師大会館)

⑥現地講座の担当者

外国人に対する中国語教育を専門とする国語教学センターの教員

⑦「海外言語文化研修」科目担当教員

南雲 大悟(外国語教育研究センター准教授、中国語教育研究室主任)

*随行員なし。

研修期間中は、国立台湾師範大学国語教学センターの日本語堪能な専門スタッフが生活上の支援を行う。

⑧成績評価について

以下をもって総合的に評価する。

1. 事前研修への参加状況
2. 現地プログラムへの参加状況
3. 現地プログラムの学習評価

詳細については「R Guide」「シラバス」で確認すること。

⑨最低参加者数について

原則として、出願書類提出期間終了時に履修希望者が1名以上であれば開催する。

2. 応募要領

①応募資格

- ・学部1～4 年次生（在学8学期目以降は履修不可）。
- ・海外での学修と生活経験への意欲のある者。
- ・事前説明会および事前研修にすべて参加可能な者。

②募集人員

- ・20名

③選考方法

- ・書類選考

④参加費総額

- ・約40万円程度

（参加費は、参加人数や為替レートにより変動がある。決定額は事前研修で発表する。）

上記費用に含まれるもの

- ☐ プログラム費（授業料・教材費・施設利用料・宿泊料など）
- ☐ 航空運賃（空港使用料・燃油サーチャージ・出入国税を含む）
- ☐ 旅行会社企画料金

※食費、海外旅行傷害保険料、現地有料オプションは上記総額に含まれない。

※海外 Wi-Fi・SIM カードあるいは eSIM を必ずレンタルすること。

※日本国籍以外の参加者はビザ取得が必要な場合がある。ビザ申請に関わる費用は 自己負担となる。

⑤支払方法

・銀行振込

参加費用は所定の方法で振込期限までに支払うこと。振込は、計3回ほどを予定しているが、詳細や振込方法は事前研修で指示する。

⑥保険

・本プログラム参加の条件として、本学が指定する海外旅行傷害保険（海外研修期間中の死亡、疾病、傷害、損害賠償責任付）に必ず加入する。

・本プログラムは、学生教育研究災害傷害保険の対象科目となる（全員加入済）。

⑦履修辞退および中止の場合の違約金

・参加辞退は、原則として認めない。やむを得ない事情により参加を辞退する場合でも、履修取消は行わない。また、その時点で課される違約金等は参加者が負担する。

・履修辞退の申し出先：全学共通カリキュラム事務局 (zenkari-gengo@rikkyo.ac.jp)

3. スケジュール(日程)

No.	事項	日程	場所
1	研修説明会へ参加	4月4日(土) 11:00~12:00	池袋:5125 教室 オンライン配信
2	申請開始	説明会修了後～	Google Form
3	申請締切	4月9日(木) 15:00 厳守	
4	履修者発表	4月14日(火) 10:00	全学共通科目掲示板
5	第1回事前研修	4月18日(土) 14:00~16:00	池袋キャンパス 6号館6405教室
6	第2回事前研修	5月16日(土) 14:00~16:00	新座キャンパス N844教室
7	第3回事前研修	6月20日(土) 14:00~16:00	池袋キャンパス 6号館6405教室
8	危機管理オリエンテーション	6月19日(金) 19:00~20:30	オンライン (別途案内あり)
9	第4回事前研修	7月18日(土) 14:00~16:00	6号館6405教室
10	日本出発・台北到着*	8月9日(日)	
11	現地研修期間	8月10日(月)	

		～8月28日(金)	
12	台北出発・日本到着*	8月29日(土)	

*搭乗予定の航空便は以下の通りである。空港集合時刻等は、事前研修時にお伝えする。

日付	便名	出発地	出発時間(現地時間)	到着地	到着時間(現地時間)	飛行時間
8月9日(日)	CI 221	東京(羽田空港)	14:30	台北(松山空港)	16:55	3時間25分
8月29日(土)	CI 222	台北(松山空港)	18:05	東京(羽田空港)	22:05	3時間00分

4. 奨学金について

・この科目は「立教大学グローバル奨学金」、「立教大学校友会成績優秀者留学支援奨学金」の申請対象プログラムである。募集要項等は、学生部奨学金ホームページ(RIKKYO PORTAL>奨学金>海外留学を支援する奨学金)にて4月1日より公開されている。

5. 研修参加における留意事項

- ①中国語海外言語文化研修(以下「本研修」)参加学生は、「本研修は学生個人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ことを了解し、かつ本研修参加について保証人の同意を得なければならない。
- ②本研修中の一切の行動は、参加学生個人の責任において行われなければならない。
- ③中国語教育研究室は、本研修の成果を上げるための助言、助力を随時提供し、相談に応じる。
- ④本研修参加学生は、中国語教育研究室が実施する本研修の説明会、および事前研修のすべてに出席しなければならない。
- ⑤以下に該当する場合には、本研修への参加を取り消す場合がある。その場合、既に納入済みの研修参加費用は返金しない。なお、本研修は履修中止制度対象外であるため、参加を取り消した場合であっても、履修登録の取り消しは行わない。
 - ・事前研修を学校感染症に罹患した等正当な事由なく欠席した場合。
 - ・各種手続きに必要な書類を指定された期日までに提出しない場合。
 - ・本研修担当者および他の参加者に身体的、心理的及び物理的損害を与えた場合、または与える恐れがある場合。
 - ・本研修を遂行する上で困難があると本学が判断した場合。
- ⑥現地滞在中は、現地大学担当者及び関係者からの指示に従わなければならない。現地担当者及び関係者の指示に従わない場合や、著しく不遜または攻撃的な態度を取った場合、または本研修関係者に身体的、心理的及び物理的損害を与えた場合は、現地大学との合意に基づき、現地研修期間中であっても帰国を指示することがある。当該参加者はこの帰国指示に従う。なお現地大学または損害の被害者への弁済及び帰国に伴う費用は全て当該参加者が自己負担する。また、帰国の際の航空券の手配については、⑨に従う。
- ⑦本研修中に撮影した写真・動画等を、海外言語文化研修の広報のため、広報制作物等に使用することに同意する。

⑧本研修は団体行動を伴う現地研修を含むため、原則として現地研修への往復旅程は本学側が用意した旅程・航空会社の便に限る。

⑨傷病を含む自己都合により往路あるいは復路、または往復とも本学が用意した日程では移動できない場合、航空券の新規購入または変更が必要となり得る。その際、航空券の手配・変更についても本研修の航空券を手配する旅行代理店に依頼しなければならない。往路のみ変更の場合は復路、また復路のみ変更の場合は往路、それぞれ本学側が用意した便を手配しなければならない。航空券新規購入・変更に伴って発生する費用・手数料・違約金は参加学生が自己負担する。

⑩本研修の成績は、9月22日(火)に発表される。

⑪ <重要>追試験の実施期間と海外留学プログラムの日程が重複する場合について

※詳細については、試験方法発表掲示において確認すること。

⑫本募集要項は、実施内容の検討に応じ変更されることがある。

6. 個人情報の扱いについて

・立教大学では、個人情報の取扱いについて「立教大学における個人情報の取扱いについて」で定め、適切な取扱いに努めている。本研修参加のために収集した個人情報は、本研修実施のために必要な範囲で現地大学及び本学が指定する旅行代理店、保険会社に提供される。

7. その他

中国語教育研究室では、本研修の実施にあたり、研修先である国立台湾師範大学担当者とは綿密に連絡を取り、現地の状況を把握しつつ準備を進めている。

現地の状況に応じては、研修の実施を中止する(その場合、単位は修得できない)こともあるので、その点を了解のうえ中国語海外言語文化研修の履修を行うこと。

なお、外務省からは「渡航情報・危険情報」が随時出されており、下記ホームページで確認することができる。

外務省 HP:<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

以 上